

主題：一神の子としての栄光をおしめしになった主イエスー

目標：一主イエスのみことばに従順に従う事により、神の奇跡、神の栄光を見る者になるー

2021/3/17

キリスト伝

初期における伝道②

ヨハネ2:1～11 p178

「カナの奇跡」

いよいよ、主イエスが人々の前にご自分を現された公生涯の初期の9ヶ月に入る。

新約聖書、最初の主イエスのお働きは、ガリラヤのカナでの結婚式での奇蹟である。

旧約聖書も最初、アダム夫妻の結婚から始まっている。これは偶然ではない。神様に祝福された結婚こそが、人生のスタート、家庭の基礎であり、社会の平和、全人類の幸福である。

そして第一の祝福は、その結婚の場に、神である主イエスがおられる事である。

第二の祝福は、以外に思うかも知れないが、ぶどう酒がなくなった事である。主イエスがいられても、何もなければ奇蹟はない。しかし用意したぶどう酒が尽きてしまったのである。この世の全ては必ず尽きるときが来る。さよならを言わないですむものは絶対にない。最後には何十年、着古した自分の体にさえ、別れを告げる時が来る。しかし主イエスがおられるなら、そこに神の祝福のチャンスがあり、前より素晴らしい恵みを与えられるのである。

第三の祝福は、ここに「証し人」^{あかし びと}がいることである。ここでは母マリアが証し人である。30年来、主イエスを知ってきた母は「あの方が言われることは、何でもしてください」(ヨハネ2:5)と言った。給仕の者たちは知らないで水瓶に水を満たし、会場に運び、奇蹟は起きた。

私たちが自分のものに愛想をつかして主に頼るとき、終わりほど良くなるものが与えられるとは、何と素晴らしいことだろう。それだけではない。死は復活。栄化に達する。…主イエスは私たちにも、ご自分の栄光を現してくださるのである。

[聖書の学び] (イスラエルの水は水質が悪く、当時の人々は水よりぶどうの果汁やぶどう酒を飲料として用いた)

I、結婚式にぶどう酒がなくなってきた (ヨハネ2:1～3)

1、結婚式のために家族や本人たちはどのような準備をしたでしょうか。

①祝福された結婚式のために、少なくともご馳走、本物の良いぶどう酒を用意する。

②結婚式には親戚縁者だけではなく、村中の人が来る

2、予測したより多く人が来たのか、ぶどう酒が尽きてなくなると、どんな影響が考えられますか。(2:1～3)

- ・宴会は終わりにになってしまう。
- ・家の面目が立たない — 格好悪い —
- ・結婚する2人の将来に、暗雲を勘ぐる思いさえ出てくる。

3、危機的状況に気付いた主イエスの母マリアは、どのような立場だったのでしょうか。
(1:1,2)

客？ 親戚？ 友人？ 給仕の者たちに指図できる立場だった … 困っているのを見て、知らぬ顔できない心がある。

Ⅱ、主イエスの行動の動機 (ヨハネ2:4～7) →主が応えて下さるためには、何か法則があるのでしょうか

1、母マリアはどのような信仰を持っていたのでしょうか。

①なぜ、マリアは飲食関係者ではない主イエスに言いにくたのでしょうか。(2:3)

②主イエスは冷たく何と言われましたか。(2:4)

③マリアは怒った風ではありません。マリアには何が解っていたのでしょうか。

また、「わたしの時はまだ来ていません」と主イエスが答えられた後、すぐに彼女は給仕の者たちに何と言っていますか。(2:5)

2、行動を起こされた主イエス

①母マリアに断ったはずの主イエスは、給仕の者たちにどのように言われましたか。(2:7)

②主イエスは母マリアに断った後、どうしてこのように動かれたのでしょうか。

Ⅲ、奇跡を見る人々 (ヨハネ2:8～11)

1、従順な給仕の者たちは、客である主イエスに言われた通り行った。

①2～3メートル入る石の水瓶6つ(1メートル=約40ℓ)に水を満たした。
②宴会の世話役のところまで運ぶ

} 重労働

2、世話役がこのぶどう酒の出どころを給仕の者たちに聞いたなら、彼らは何と答えたと思いますか。

3、世話役に聞かれた花婿は、何と答えたと思いますか。(2:9～10)

4、この奇跡が主イエスの業と知った人々の反応はどうだったのでしょうか。(2:11)

新郎新婦、世話役、家族一族、集まった大勢の人々、弟子たち

* ディスカッション (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。